

2018年4月6日配信



衆議院議員 かど博文 活動報告

かどTOPICS

● 3月29日(木)「自由民主党成田国際空港推進議員総会」にて発言



自民党本部にて行われた「自由民主党成田国際空港推進議員総会」に出席しました。

国際競争力の強化、更なる経済成長の実現、訪日外国人旅行者の更なる増員を図るために日本の表玄関である成田空港に第3滑走路の整備をはじめとする機能強化の実現が重要です。

● 4月1日(日) 統計データ利活用センター2箇所オープン



総務省統計局の「統計データ利活用センター」と「和歌山県データ利活用推進センター」が和歌山市に開設されました。

「統計データ利活用センター」は総務省の業務の一部を地方に移転する国の「地方創生」の取り組みの1つとして県が政府に提案して実現。一方「和歌山県データ利活用推進センター」は、統計データ利活用センターと連携した活動を行うために県が設置しました。ちなみに内装の一部に紀州材が使われています。

● 4月4日(水) 東京ビッグサイトにてコンベンションホールの規模感を実感



IRの中核的施設として位置付けられているコンベンションホールの規模感を再認識するため日本最大のコンベンションホール「東京ビッグサイト(9.6万㎡)」を訪問。

業界のオピニオンリーダーとして著名なリードエグジビジョンジャパン株式会社の田中常務と”日本に必要なコンベンションホールの規模感”について意見交換しました。田中常務のお話では「日本最大の東京ビッグサイトでも世界で見たら68位。世界1位はドイツのハノーバーにあるコンベンションホールで46.6万㎡。幕張メッセが良い例だが何もない土地に7.2万㎡の幕張メッセを造った結果、宿泊施設や商業施設の開業、鉄道の敷設、そして各社の本社機能までもが集まってきた。IRはカジノだけではない。世界のトップクラスに匹敵するコンベンションホールを造れば、その地域のエンジンの機能を十分に発揮するはず」と発言賜りました。まったくの同感です。

日本に必要なIRに設置するコンベンションホールの規模感について様々な方と意見交換をしていきます。